

# 観光と民俗を考える

## ～男鹿市の観光振興を事例として～

### 講師・コーディネーター

鎌田 幸男 氏

ノースアジア大学 総合研究センター 教授  
ノースアジア大学 総合研究センター 雪国民俗館名誉館長  
秋田県民俗学会 会長  
男鹿市文化財保護審議会 会長

### パネリスト

菅原 正幸 氏

男鹿市産業建設部観光課 課長

石郷岡 千鶴子 氏

秋田県民俗学会 事務局長

平 辰彦 氏

秋田栄養短期大学 准教授  
ノースアジア大学 総合研究センター 雪国民俗館館長代理  
ノースアジア大学 総合研究センター 国際観光研究所副参与

### 日時

平成20年  
1月11日(金)

12時30分開場  
午後1時～4時

### 会場

ノースアジア大学  
管理棟3階  
大会議室

### 講演会・パネルディスカッションの概要

例えば男鹿市では、観光振興策の柱の1つにナマハゲ行事を取り上げている。男鹿といえばナマハゲというように、ナマハゲは男鹿の代名詞的存在になっている。そして昭和53年に国の重要無形民俗文化財に指定され、来年は30年目を迎える。男鹿市では、このナマハゲという無形の民俗文化財を通じて観光振興をはかり、地域の活性化そして経済効果を高めようとするねらいがある。生活文化として形成されたナマハ

ゲは、こうして男鹿の観光資源の一翼を担うことになるのである。

民俗は人々の暮らしの一部であり、その事象には暮らしが語られている。そこには村人の人生観や生活観が刻みこまれているのである。こうしたことからそれは、本来観客を前にして見せることを目的としたものでないことがわかる。しかし現代の社会では、観光を避けて通ることは不可能な状況にあり、また観光の語源には人々の暮らしを観るという意味が含まれているという。このように考えると、伝統的に継承されてきた民俗(生活文化)と観光は接点をもつことになる。

本講座では、人々の暮らしの変遷を語る民俗が、観光とどのように結びつき、また観光は地域社会にどのような影響を与えることになるのか、男鹿市の観光事業～ナマハゲや温泉～を通じて考えてみようと思う。

### お問い合わせ・お申し込み

ノースアジア大学総合研究センター(40周年記念館3F)

TEL 018-836-6592 FAX 018-836-6530 e-mail scenter@nau.ac.jp

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1 URL:<http://www.nau.ac.jp/~center/>

入場無料

